



# OSS Gate ワークショップ

# アイスブレイク



## ✓ 目的

- ✓ 周りの人と話しやすくなること  
せっかくだから相談しよう！

## ✓ やること

- ✓ 参加目的をみんなに説明  
※内容より**声を出すことが大事！**
- ✓ まずはサポーターから発声  
順番はスムーズな進行のために指定しているだけ。

# チャット：Gitter

- ✓ `gitter.im/oss-gate/${地域}`  
例：[URL:https://gitter.im/oss-gate/tokyo](https://gitter.im/oss-gate/tokyo)
- ✓ オンラインで相談できる場所
- ✓ 今日は連絡用に使う
  - ✓ 登録してなにか書き込もう！
- ✓ 明日からも使おう！



# OSS Gate ?



# OSSの門？

門



# 境界にあるもの

# 扱う境界

OSS開発

活発



自信ない



参加者

未参加者

興味あり



興味なし



# ターゲット

OSS開発

活発



自信ない



未参加者

参加者

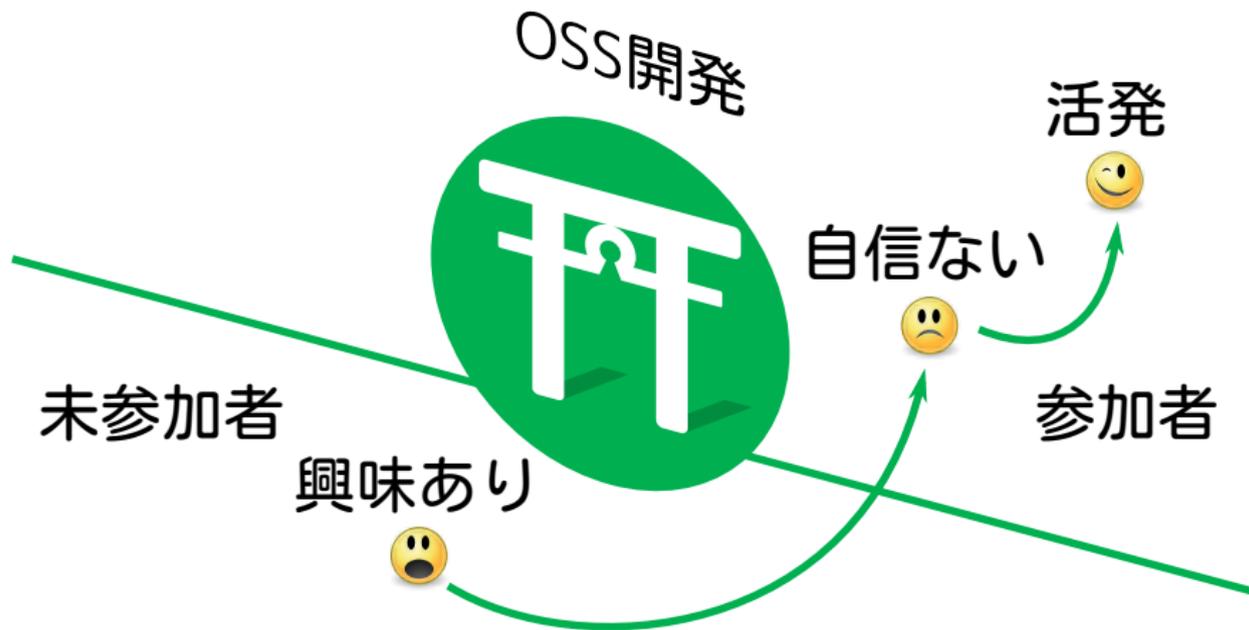
興味あり



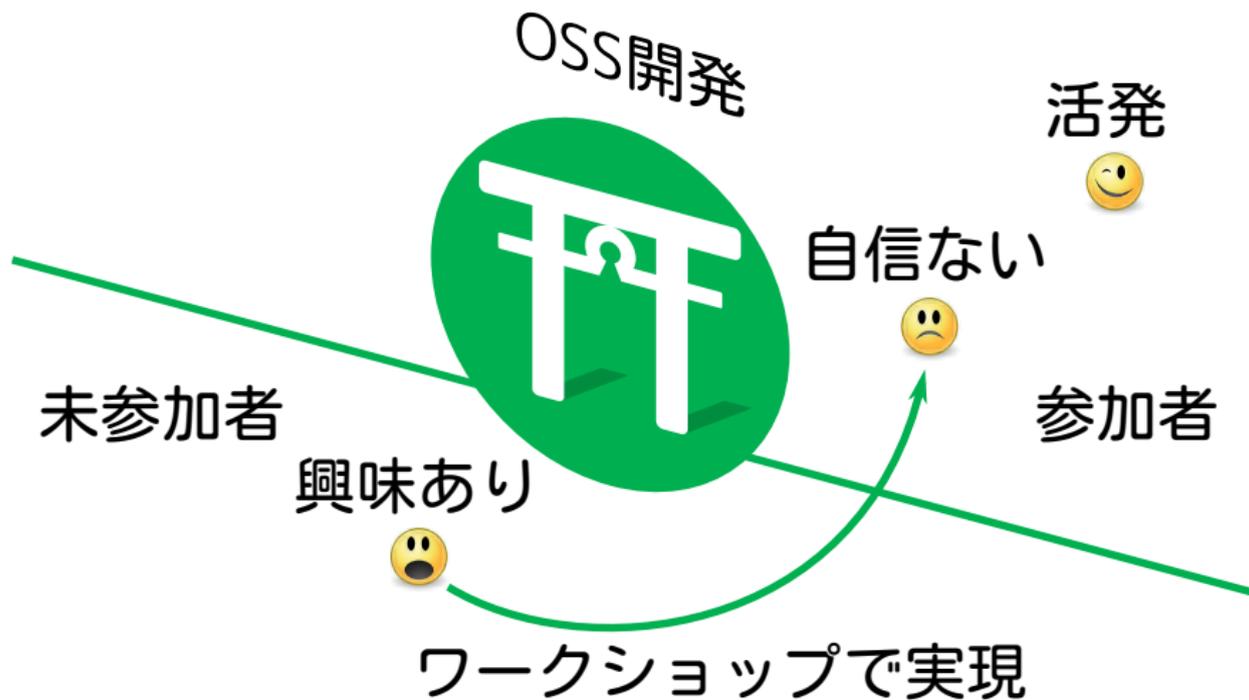
興味なし



# やりたいこと



# 未参加者→参加者



# OSS Gateとワークショップ

- ✓ OSS Gate

- ✓ [OSS開発参加者を継続的に増やす]  
取り組み

- ✓ OSS Gateワークショップ

- ✓ [...増やす]を実現するための1手段

- ✓ **未**経験者が経験者になると増える

# どうして**未**経験？



- ✓ (数人の参加者に聞く)
- ✓ 予想：
  - ✓ やったことがないから  
なんとなく敷居が高いと感じる

# ワークショップの重要事項

## 体験する

体験して大したことはないとわかる→敷居が下がる

# 体験して門をくぐる

OSS開発

活発



自信ない



参加者

未参加者

なんか不安だな…

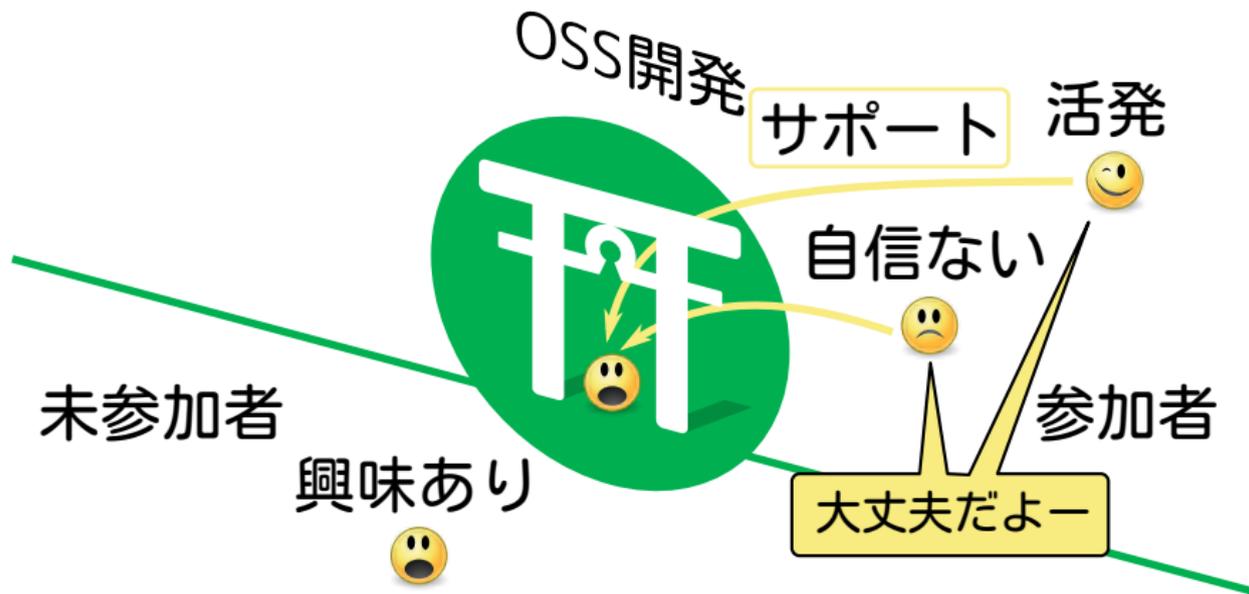
くぐってしまえば  
別になんてことはなかった！

興味あり



くぐってしまえば  
別になんてことはなかった！

# よりくぐりやすく



# ワークショップの内容1



## 参加者のこと

# 立場一覧



- ✓ ビギナー
- ✓ サポーター
- ✓ サポートメンター
- ✓ 進行役

# ビギナー



- ✓ OSSの開発に参加したい
  - ✓ でも参加したことはない
- ✓ OSSの開発に参加した事はある
  - ✓ でもまだ自信がない

# サポーター



- ✓ ビギナーのサポート係
- ✓ OSS開発経験者
- ✓ 初参加でも大丈夫！
  - ✓ 例：進行役がやることを随時説明
  - ✓ 例：サポートメンターがサポート

# サポートメンター



- ✓ サポーターのサポート係
- ✓ サポーター経験者
- ✓ 会場各地でスポットサポート
- ✓ サポート例：
  - ✓ うまくサポートできていない感…  
→相談しよう！  
サポーター1人で完璧にサポートしなくてよい！

# 進行役



✓ 進行と全体を気にかける係

# ワークショップの内容2



## 流れ

# 今日の流れのポイント



- ✓ 未経験者の最初の1歩に最適化
  - ✓ ※OSSの開発方法はいろいろある
  - ✓ ※やりたい事がある人は応相談
  - ✓ ※基本的にこのやり方でやろう！

# 流れ



1. ユーザーとしてOSSを動かす
2. ↑で気づいた事を開発元に  
フィードバック

# 期待

- ✓ 普段は気づいていないだけで  
実はフィードバックポイントが  
あったことを**体験**して！
- ✓ ※普段、ググってブログやQiitaで  
回避策を探していませんか？  
そんなときどうしたらよいかはワークショップ内で！
- ✓ フィードバックを**体験**して！

# ワークショップの内容3



ユーザーとして  
OSSを動かす

# 動かす流れ



(詳細は後述)

1. 対象OSSを決める
2. 作業メモを書く場所を用意
3. 作業メモを書きながら  
**公式サイト・README通り**  
動かす

# OSSとは

- ✓ オープンソースライセンスを設定したソフトウェア
  - ✓ [<URL:https://opensource.org/licenses/alphabetical>](https://opensource.org/licenses/alphabetical)
- ✓ ライセンスを確認すればOSSかどうかわかる
  - ✓ OSS「っぽい」は存在しない

# 対象OSS決め

- ✓ ビギナーが決める
  - ✓ 使っているOSSから選ぶ  
ブラウザの拡張機能・便利なコマンドラインツール等  
無意識で使っている物の中にもOSSはある
  - ✓ 難易度は気にしなくてよい！  
サポーターがサポートするから！
- ✓ サポーターは↑をサポート
  - ✓ 自分の知らないOSSや言語でもよい  
ビギナーと一緒に悩んであげよう！

# 対象OSS決めデモ

# デモ

- ✓ 最近使っているOSSは？
  - ✓ ライセンス確認→OK！
- ✓ その中で一番ときめくのは？
- ✓ ではそれにしましょう！

# 動かすときのポイント



- ✓ 作業メモを書く
  - ✓  メモを書く場所はこのあと作る
- ✓ なにかする毎に書く
  - ✓ 例：ドキュメントを読み始めた
  - ✓ 例：次のドキュメントを読み始めた

# 作業メモを書く場所を作る



## デモ

1. GitHub: [oss-gate/workshop](https://github.com/oss-gate/workshop)
2. ↑ にissueを作る
3. 周囲のビギナーの人たちが作ったissueにコメント

# 作業メモの例



ドキュメント通りインストールしたけど  
失敗した。

# よりよい作業メモの例



http://... のインストール手順をなぞろう！  
（↑後から再度参照できるようにURLも書く）  
brewでインストールできるはずなのに失敗した  
（↑期待する結果）

```
% brew install XXX (←なにをしたか)
(...コマンドの実行結果...)
(↑実際の結果)
```

```
XXX is not found
↑というようにパッケージがないと言われる
```

# ユーザーとして動かす デモ



1. 公式サイトを開く
2. 作業メモを書く
3. 概要を読む
4. 作業メモを書く
5. ...



# 作業開始！

# ●時▲分まで！

1. 公式サイトを開く
2. 作業メモを書く
3. 概要を読む
4. 作業メモを書く
5. ...

# ふりかえり1

…●時▲分！

- ✓ これまでの活動を見直す機会
- ✓ 目的：
  - ✓ 他の人の視点での考え方を知る
  - ✓ 作業ログが役に立つことを実感

# ふりかえり1：デモ デモ

- ✓ ビギナー：
  - ✓ 作業メモを読む
- ✓ サポーター：
  - ✓ 気になることをビギナーに質問
  - ✓ フィードバックポイントを確認
  - ✓ 完了→issueにコメント

# ふりかえり1：進め方



- ✓ サポーターを他の人に交代
- ✓ 対象ビギナーの作業ログをディスプレイに映す
- ✓ ビギナーが作業メモを読む
- ✓ 時間が余ったら：
  - ✓ 近くの他のビギナーにも説明

# 休憩



●時▲分まで！

# 現状確認



1. ~~ユーザーとして動かす~~
2. ~~ふりかえり1~~
3. ~~フィードバックポイントを発見!~~
4. ↑を**フィードバック**

# フィードバック



- ✓ upstream（開発元）に  
うまくいかなかったことを報告
  - ✓ ここで詰まった、を伝える
  - ✓ こうだったらよかった、を伝える

# 報告方法



1. 整理する
  - ✓ 自分の考えが文章になればOK
2. **開発者にとって**  
わかりやすくなるように編集
3. 適切な場所に報告
  - ✓ GitHubのissueとか

# 1. 整理する

- ✓ 自分で自分の気持ちを理解
  - ✓ 自分が読んで理解できる文章にまとめられれば理解できている
  - ✓ 自分が理解できていないことは開発者にも伝えられない！
  - ✓ 作業メモに追記→サポーター確認

サポーターへ：メモ（断片）の文書化を手伝って  
例：考えを整理できるような質問をする

# 整理方法



## デモ

- ✓ 作業メモを開く
- ✓ フィードバック対象を決める
- ✓ 自分の気持ちを作業メモに追記
- ✓ サポーターに確認依頼

## 2. 編集する

- ✓ **開発者にとって**  
わかりやすくなるように編集
- ✓ 報告方針をまとめているOSSもある  
例：GitHubにあるCONTRIBUTING.md
- ✓ 作業メモに追記→サポーターに確認

サポーターへ：リーダブル化を手伝って  
例：自分が開発者ならこう読めると開発者視点を伝える

# 編集の仕方



- ✓ ポイント
  - ✓ **相手**がわかるように書く
  - ✓ 例：省略しない（具体的に書く）

# 省略例

“インストールしました。  
動きませんでした。  
どうしたらいいのでしょうか？”

# 省略しない例

“ ↓ でインストール

```
% sudo apt-get install ...  
(...実行結果...)
```

↑ のように失敗しました。

環境 : Ubuntu 16.10 amd64”

# なぜ省略しないか



- ✓ 相手は私を知らないから
  - ✓ 省略すると**想像**しないといけない
  - ✓ だいたい**想像は外れる**
  - ✓ 話が噛み合わない！

# 省略しないとは



- ✓ 詳細を書く
  - ✓ 実行したコマンド・実行結果
- ✓ やったことを書く
- ✓ やって**いないこと**を書く
- ✓ 期待した結果を書く

# 編集方法



## デモ

- ✓ 作業メモを開く
- ✓ 自分の気持ちを開発者に伝えるようにまとめて作業メモに追記
- ✓ サポーターに確認依頼

# 3. 報告する



- ✓ 適切な場所に報告
  - ✓ OSSによって報告場所は違う
- ✓ サポーターへ
  - ✓ 報告に二の足を踏んでいる人の背中を押してあげて  
例：自分が開発者ならこの報告をもらったらうれしい、と開発者視点を伝える

# 報告方法



## デモ

- ✓ 報告方法を探す
- ✓ サポーターに後押ししてもらう
- ✓ まとめた報告内容を報告

# 報告

## ●時▲分まで！

1. 整理する
2. 開発者にとってわかりやすく  
なるように編集する
3. 適切な場所に報告する
4. ...

# ふりかえり2：デモ デモ

- ✓ ビギナー：
  - ✓ 作業メモを読む
- ✓ サポーター：
  - ✓ **よかったことをよい！**と言う
  - ✓ 気になることをビギナーに質問
  - ✓ 完了→issueにコメント

# ふりかえり2：進め方



- ✓ サポーターを他の人に交代
- ✓ 対象ビギナーの作業ログをディスプレイに映す
- ✓ ビギナーが作業メモを読む
- ✓ 時間が余ったら：
  - ✓ 近くの他のビギナーにも説明

# まとめ



- ✓ 今日やったことを再確認
- ✓ 明日からのことを確認

# 目的の確認



OSS開発**未**経験者



OSS開発 経験者

# やったこと



## OSS開発参加を体験する

1. ユーザーとして動かす
2. フィードバック

# 体験時のポイント



常にメモ

# 常にメモの理由



- ✓ 詰まったところに気づくため
  - ✓ いつもはスルーしていない？
  - ✓ 実はフィードバックポイント！

# 詰まったところ



- ✓ OSS開発参加の**チャンス**！
  - ✓ ポジティブに捉えてみよう
  - ✓ 実際に参加して楽しかった？
- ✓ 直ると次の人は**うまくいく**
  - ✓ 気分がいいね！

# 気づいた？



- ✓ コードを書くだけがOSS開発参加方法じゃない
- ✓ 使いはじめてのユーザーだからできることもある
- ✓ やり方を知ればやれる
  - ✓ 明日からもやってみよう！

# 明日からのやり方



- ✓ 自分が使っているOSSでもやってみよう
  - a. ユーザーとして動かす
  - b. 気になったことをまとめる
  - c. フィードバック
  
- ✓ ↑失敗が怖い？

# OSSと失敗

- ✓ そもそも失敗と認識されない
  - ✓ 少なくとも1発アウト！はほぼない
  - ✓ 新規開発者は基本的にWelcome
- ✓ 失敗しても根に持たれない
  - ✓ 失敗→改善：改善後を評価



明日からオススメ方法をTry！

# メッセージ



不安がらずに  
OSSの開発を  
楽しんで！

# 来てよかった！と思ったら



- ✓ OSS Gateに継続参加！
  - ✓ チャット・ワークショップ・…
  - ✓ 社内・コミュニティ向けワークショップを検討
- ✓ OSS Gateを継続宣伝！
  - ✓ 周りの人を誘う
  - ✓ ブログに書く

# OSS Gateはメンバー募集中

- ✓ 次のワークショップ開催日は…
  - ✓ 開催する毎に門をくぐる人がいる！
  - ✓ 多くの人と協力して継続したい！
  - ✓ 会場提供・サポーター・進行役・…
- ✓ チャットで色々話してるよ！
  - ✓ [https://gitter.im/oss-gate/\\${地域}](https://gitter.im/oss-gate/${地域})
  - ✓ 例：[URL:https://gitter.im/oss-gate/tokyo](https://gitter.im/oss-gate/tokyo)

# おねがい



- ✓ 今日のフィードバックを！
  - ✓ 次に活かしたい
- ✓ この後すぐ
  - ✓ アンケート記入
  - ✓ アンケート結果をみんなで確認

# アンケートの回答方法



1. `github.com/oss-gate/workshop` をfork
2. `tutorial/retrospectives/YYYY-MM-DD-***`
  - ✓ `beginner.yaml` → `beginner-***.yaml`
  - ✓ `supporter.yaml` → `supporter-***.yaml`
3. `git add` → `git commit` → `git push`
4. `github.com/自分のアカウント/workshop`を開いて「Pull request」